二、支部、の確立、大衆、の組織化！

この選挙戦を通じて、大衆の組織化に努力すると共に、支部を確立し党員倍加、支部数倍加を行へ。

三、日常、闘争、の激発

選挙戦を行ふと共に日常闘争を放棄してはならぬ。日常闘争を激発して、これを選挙戦に接合することこそ無産党の勝利の捷径である。

四、党、の強化

市町村会の全国的闘争を通じて高まつた党員の共同精神は支部、に、線、及び旧党意識を揚棄せねばならぬと同時にその大衆の圧力は、党の強化のために差し向けねばならぬ。七党合同の精神は闘争力の強大化であつて、新しき対立の発生のためではない。然るに一部の司令部の机上的思想家■は今日に於ても大衆が戦ひ尊きし党を合戦に導かんと欲するが如く努力しつゝある。この一連の思想家はさきに[illegible]一派と共同戦線を張つて[illegible]運動[illegible]する策言を拡大し、遂にその事を闘[illegible]れた選挙中であるが、近頃に[illegible]に於て、[illegible]の如きがとしの選挙準備とりま[illegible]し、[illegible]党と[illegible]党（藤原一派）の手先を勤めて[illegible]

最近の[illegible]新聞には本部は[illegible]をかゝげ「町村会の対策がでたらめ」とか「社民に敗ける」とか盛んに書き立て、吾党の逆宣伝を行ひつゝある。本部が市町村会に全力を傾け、あるとき、本部員は各私費を以て地方に出張して地方の党員と協力しつゝあるとき、書斎にあつて全然原稿を書きつゝ、党の悪口を叩くとは一体彼等は既成政党の何物であるか？吾党に対する明かなる反逆者である。党が戦つてゐるとき彼等は座して嘲笑してゐる。吾等は大衆の正しき批判と圧力は、この落伍者の一団を最後的に窒息せしめねばならぬ。全党員に向つて党の地位と党員の責務の重大性を意識せしめよ。

五、日本、大衆、新聞、を、生長せしめよ！

地方機関紙が沢山出来たが、党の集中的、統一的機関として日本大衆新聞の必要性と重大性は減少するのではなく、それ故に益々大になつて来た。(イ)支局を設置せよ！(ロ)新聞読者を党外にも拡大せよ！(ハ)通信を組織的に送れ！(ニ)紙代を送れ！(ホ)基金を募集せよ！

六、財政、の確立、のために、戦へ！

本部は広大なる戦線を組織してゐる。日本大衆党の前途は洋々たるものがある。しかし一つの危機は財政にある。大衆政党の財政は大衆によ